

HIRAO NEWS

'20.10月号 -Vol.14-

中浜防災林 完成しました！

工事名 > 防災林造成（復興創生）3003工事 浪江地区

工期 > 令和1年9月30日～令和2年9月30日

工事概要 > 東日本大震災で被害を受けた**海岸防災林の早期復興**と、**将来の津波災害の軽減**を目的とした工事です。

今回の現場はこちら！



着工前



完成

おつかれさまでした！

現場担当者にインタビューしました！



－どの作業工程が一番大変でしたか？



盛土工事が梅雨時期と重なり、

何度も手直しを行ったため工程に影響が出て大変でした。



－現場で工夫した点はなんですか？



雨による崩れ防止対策として、

盛土整形面をシートで養生し、被害を最小限にしたことです。



養生【読み：ようじょう】

保護すること。

－ 防災林について －

No.1

防災林について
詳しく見てみよう！



防災林とは？

- － 防災林とは、災害を防止あるいは緩和する目的で造成された森林のことです。
この工事は「海岸防災林」といって、防潮・防風・飛砂防備を目的としています。



海岸防災林には、なぜクロマツが使われるの？

- － 塩水や塩が葉につくと、普通の植物は枯れてしまいます。
塩の害に強く、砂浜でも育つ樹木は、背が高く風を防ぐことができるクロマツだけでした。
クロマツの葉は細いので強い風に逆らわず、風の力を弱め、風に乗った砂を地面に落とします。
海岸の近くに住む人々が安全に暮らせているのは、このクロマツのおかげなのです。



参照 > 森林総合研究所（マツ解説）：http://www.ffpri-skk.affrc.go.jp/matu/qmatu_kaigan.html



マツは1年でどのくらい成長するの？

- － 1年で直径が0.5～1cmほど大きくなるようです。
マツの木は1年に1回しか枝が出ず、切り株に見える年輪も1年で一つずつしかできません。
年輪と年輪の幅を測ると1年間にどのくらい太くなったかがわかります。

参照 > 森林総合研究所（マツ解説）：http://www.ffpri-skk.affrc.go.jp/matu/qmatu_seicho.html



海岸防災林の現状と課題は？

- － 海岸防災林は、様々な災害からわたしたちを守ってくれる一方で、課題もあります。

1. 松くい虫によるクロマツへの被害

→ マツの海岸林で周辺のマツが枯れてしまう多くの原因は「松くい虫」です。
しかし、実際にマツを枯らしている原因は、
マツノマダラカミキリに寄生している共生関係のマツノザイセンチュウです。
マツノザイセンチュウは成虫が食べた後の樹皮の傷からマツの中に入って
栄養を吸い取って成長するため、周辺のマツが枯れてしまうのです。

2. 海岸防災林の管理をする人の減少

→ 現在は、高齢化や若者の上京が原因で管理する人が少なくなっていて、雑草・雑木が生え、
徐々に海岸林の植生が遷移してきています。
雑木などが増えると、松枯れの原因になってしまいます。

参照 > 日本海岸林学会：http://jscf.jp/knowledge/problem_list.html



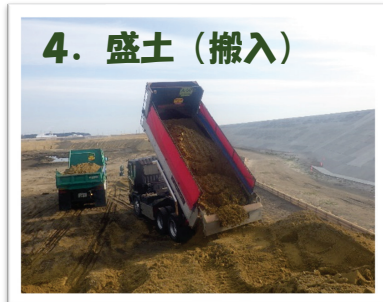
▲ 住宅跡地に異物が無いか確認します。



▲ 既設盛土との密着を図るため、段切りをします。



▲ 土砂流出防止のために、丸太柵を設置します。



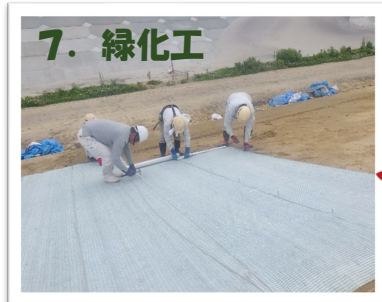
▲ 盛土材の搬入をします。



▲ 搬入した盛土材を敷均します。



▲ 法面の整形をします。



▲ 法面緑化のため、植生シートを設置します。



▲ 盛土部の排水処理のため、暗渠を設置します。



▲ 管理道路に砂利を敷きます。



▲ クロマツの苗木を植樹する前に、天端の攪拌（深さ1m）を行い、均平に整正します。

取材にご協力いただきありがとうございました！
植樹する前の土台ができるまで、様々な工事をしているのですね。
これから海岸防災林として成長していくのが楽しみです！



暗渠【読み：あんきょ】
地下に埋設したり、水面が見えないように、ふたがしてあったりする通路や排水溝のこと。

永年勤続者表彰

10月1日に創業64周年を迎えました。
また、永年勤続者の表彰も執り行われました。
受賞された17名の皆さん、おめでとうございます！
今後の益々のご活躍をお祈りしております。



▲ 福島での表彰式の様子

編集後記

- 11/3 文化の日
- 11/4 安全祈願祭
- 11/4 安全衛生委員会
- 11/23 勤労感謝の日

来月の行事日程

季節の変わり目で体調が崩れやすくなっていますので、いつも以上に体調管理には気を付けて下さい。
また、これからインフルエンザも流行ってきます。
改めて、手洗い・うがい・マスクの着用などの基本的な予防を徹底していきましょう。

